

学長式辞

日本赤十字九州国際看護大学 平成25年度入学式にあたり、大学を代表して、新入生の皆様とご参列のご家族、並びに来賓の皆様にご挨拶申し上げます。

学部104名、大学院5名の新入生、および救急看護認定看護師教育課程研修生32名の皆様の、本学へのご入学をお祝い申し上げ、心から歓迎いたします。

皆さんは、これから始まる新しい環境に緊張されていることと思いますが、実は、私も皆さんと同様、この4月に就任したばかりです。早く環境に慣れて、未来に希望を抱き、共に歩んで行きましょう。

入学生の皆様は、それぞれの動機で本学を志願し、入学されたことと思います。初心を大切に、当初の思いや希望を思い起こしながら、充実したキャンパスライフを送ってほしいと思います。

本学の教育の特徴は、「日本赤十字九州国際看護大学」という大学名に表しています。「赤十字」、「国際」、「看護」を、教育の柱としています。本学は、赤十字の「人道」を教育の基本理念としています。

この「人道」の理念は、今から約150年前に、スイスのアンリー・デュナンの思想から誕生したものです。青年実業家デュナンは、イタリア統一戦争の戦場を通りかかった時、傷ついた多くの兵士が何の手当てもなく放置されている状況に遭遇しました。「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない。人間である。人間みな兄弟だ。」と、敵味方なく助けました。当時、敵を助けるという考えは全くない時代でした。

デュナンは、当時の既成概念に捉われることなく「人の持っている自然なところ」で行動を起こすことができたのです。デュナンは、この考えを一つの出来事に終わらせず、世界に理解を求め、赤十字という組織を創設しました。皆さんには、この、一人の思い、行動がなし得た意味をこれからの学習で考えて欲しいと思います。

「人道」を行動に移すことは、易しくもあり、難しくもあります。想像してみてください。困った人に、手を差し伸べたり、友情を示したりすることは、沢山あるはずです。しかし、日本の社会、世界の情勢に目を向けますと、戦争や紛争、災害などで、多くの人の命や健康が失われ、傷つき悲しんでいる人が大勢います。これから、赤十字を学ぶ皆さんには、「私、あなたの一人ひとりの行動によって、お互いに理解し、助け合い、平和な社会をもたらす」、輝く一粒の種になってほしいと希望します。

次に、「国際性」についてお話しします。デュナンが提唱した、各国に一つずつある各国赤十字社は、今や、188社あります。日本赤十字社もその一つです。この地球上において、今現在も、戦争や紛争は起こっており、兵士ばかりでなく、一般市民の多くの方が命や健康、家族を失っています。災害も、増々その被害の規模は拡大し、頻度も増しています。東日本大震災から2年経過しますが、まだまだ復興の途上です。日本赤十字社では、発災から半年にわたって、約7,000人の職員が救護活動を行いました。海外の赤十字から、多額の支援をいただき、現在も復興支援を行っています。赤十字社は、苦しみを予防・軽減することを使命として、相互に協力をして救援活動を行っています。皆さんの先輩である赤十字の看護師も、本学のスローガンである「ひとりを看る目、その目を世界へ」に向けて、国際救援活動に励んでいます。

皆さんにも、国際的に通用する人間として、看護専門家として成長して欲しいと願っています。本学には、海外研修等を含め、国際看護学の科目を用意していますので、積極的に学んでいただきたいと思います。

最後に、「看護」についてお話しします。看護大学に入学され、皆さんは「看護」を学ぶことが本業であります。看護は実践の科学です。すなわち、患者さんと看護師、つまり人と人が向き合いその対話により、看護師の知識を駆使した専門的な判断に基づき、技術、つまり自らの手を通して看護が提供されます。そういった意味で、大切なことは、看護者の心のあり様です。看護者のものの考え方、価値観によって、提供される看護は異なってきます。病を持った人や傷ついた人々は、「心から助けたい」という気持ちが伝わって、初めて癒されるものです。看護師となる皆さんには専門的な知識や技術を身につけるとともに、人間としての成長を高めてほしいと思います。

「真に学問を究めることは、人間の精神を高めるものです。」それは、「赤十字」を問うことから、「看護」を問うことから、同様の答えが見つかるものと思います。皆さんには幅広く、そして真摯に学問を究めていただきたいと思います。

私ども教職員は、一丸となって、皆さん自らが学習されることを精一杯支援いたします。ご家族の皆様には、これからも、厳しくも暖かいご支援をお願い申し上げます。最後に、これまで本学に限りないご支援を賜って参りましたご来賓の皆様には、今後一層のご鞭撻をお願い申し上げます、私の式辞とさせていただきます。

平成25年4月4日
日本赤十字九州国際看護大学
学長 浦田喜久子